

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム こでまり

目標達成計画

作成日: 平成 23年 5月 21日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	1	法人全体の理念はリビング内に掲示し、常に職員が意識できる様にしているが、地域密着型サービスとしてのグループホーム独自の理念が作成されていない。	グループホーム独自の理念を作成し、法人の理念とともに職員が目届く場所に掲示する。	平成23年7月のミーティングの際に全員で理念の作成を行なう予定。その後職員の目届く所へ掲示し、いつでも確認できる様にする。	3ヶ月
2	33	重度化した場合のサービス移行等に関しては契約時や必要時にご家族に口頭では説明しているが紙面での同意を得ていない。	紙面で同意を得ることが出来る様に文章化し重度化した場合のあり方についてより明確化する様にしたい。	文章化し、同意書を作成。ご家族に再度説明し同意を得る。	6ヶ月
3	35	消防署立会いや自主での防災訓練は2ヶ月に1回実施しているが、地域の消防団の方との連携はなく、消防訓練の参加はない。	年間を通しての消防避難訓練の中で地域の消防団の方々にも参加していただく。	支所の消防担当の方に連絡し、地域の消防団の方の情報を収集。今後の避難訓練等の参加の依頼し訓練を行なう。	12ヶ月
4	2	大型施設内にあることもあり、地域の方々のグループホームの認識が薄く、気軽に訪問される機会が少ない。	地域の方々が気軽に訪問できる関係性の構築に努める。	○町の支所やおたっしや本舗等を通じての宣伝・広報活動を強化する。 ○ホーム独自の慰問の機会を設け、何もなくても気軽に訪ねてきていただける関係性を築く。 ○地域への行事や食材の買い出しを通してホームの存在を認識していただく。	12ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。